

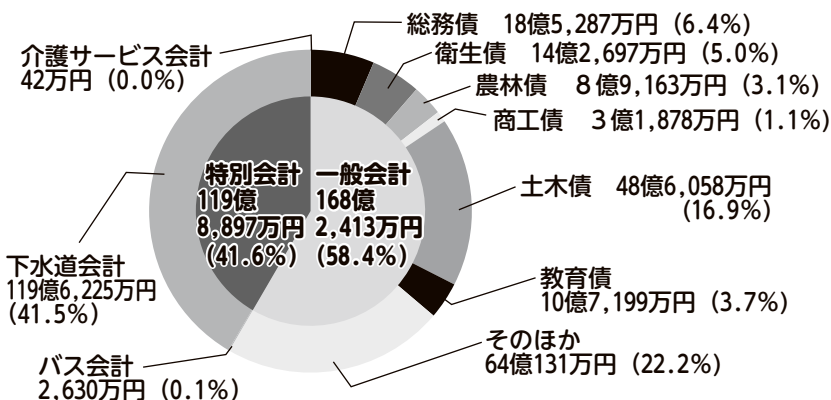
特別会計

	10億円	20億円	30億円
市民バス会計	料金 1,122万円 歳入：3,583万円 歳出：3,583万円 繰入金 1,788万円 国・道支出金など 673万円 運営費 3,581万円 公債費 2万円		
国民健康保険会計	繰入金 3億3,470万円 そのほか 3,015万円 保険税 5億6,596万円 国・道支出金など 27億2,183万円 歳入：36億5,264万円 歳出：36億1,918万円 3,346万円の黒字決算 医療費 34億6,143万円 事務管理費 1億1,148万円 そのほか 4,627万円		
下水道会計	使用料など 4億1,582万円 国庫支出金 5,073万円 繰入金 7億2,589万円 市債(借入金) 4億9,080万円 そのほか 2,680万円 歳入：17億1,004万円 歳出：17億1,004万円 公債費 12億8,836万円 維持管理費 2億698万円 建設費 2億1,470万円		
介護保険会計	介護保険料 5億781万円 繰入金 3億9,785万円 国・道支出金など 17億5,928万円 そのほか 1億1,485万円 歳入：27億7,979万円 歳出：27億3,286万円 4,693万円の黒字決算 介護給付費 23億7,668万円 そのほか 2億8,951万円 事務管理費 6,667万円		
介護サービス事業会計	介護サービス料 1億9,818万円 繰入金 1,450万円 そのほか 71万円 施設管理費 1億6,869万円 公債費 14万円 介護サービス費 4,456万円 歳入：2億1,339万円 歳出：2億1,339万円		
後期高齢者医療会計	医療保険料 2億4,505万円 繰入金 5億2,181万円 道支出金 6万円 そのほか 491万円 歳入：7億7,183万円 歳出：7億7,079万円 10万円の黒字決算 広域連合納付金 7億6,356万円 そのほか 56万円 管理費 667万円		

特別会計は、国民健康保険事業や下水道事業などの特定の事業を行う場合に保険税や使用料のような特定の収入をその事業にあて、一般会計と区別して経理を行う会計です。
 ※繰入金とは一般会計の諸支出金（財源は市税・交付税 など）。

市債の状況

市債は、財政負担の世代間公平などの観点から、道路、学校、公営住宅、消防施設、そのほか公共施設などの整備を行うために認められている長期借入金で、前年度対比で14億7,097万円（4.9%）減少しました。



平成29年度に実施した主な事業

農商工連携推進助成事業	16万円
多面的機能支払交付金事業	3億1,317万円
中心経営体農地集積促進事業	1億3,396万円
特産品情報発信促進事業	2,992万円
地域資源を活用した観光地づくり推進事業	1,542万円
移住・定住促進事業	938万円
環境衛生推進事業	884万円
臨時福祉給付金給付事業	1億374万円
医療等拠点づくり推進事業	817万円
受動喫煙防止の啓発等（健康づくり啓発事業、公民館・市民会館整備事業）	199万円

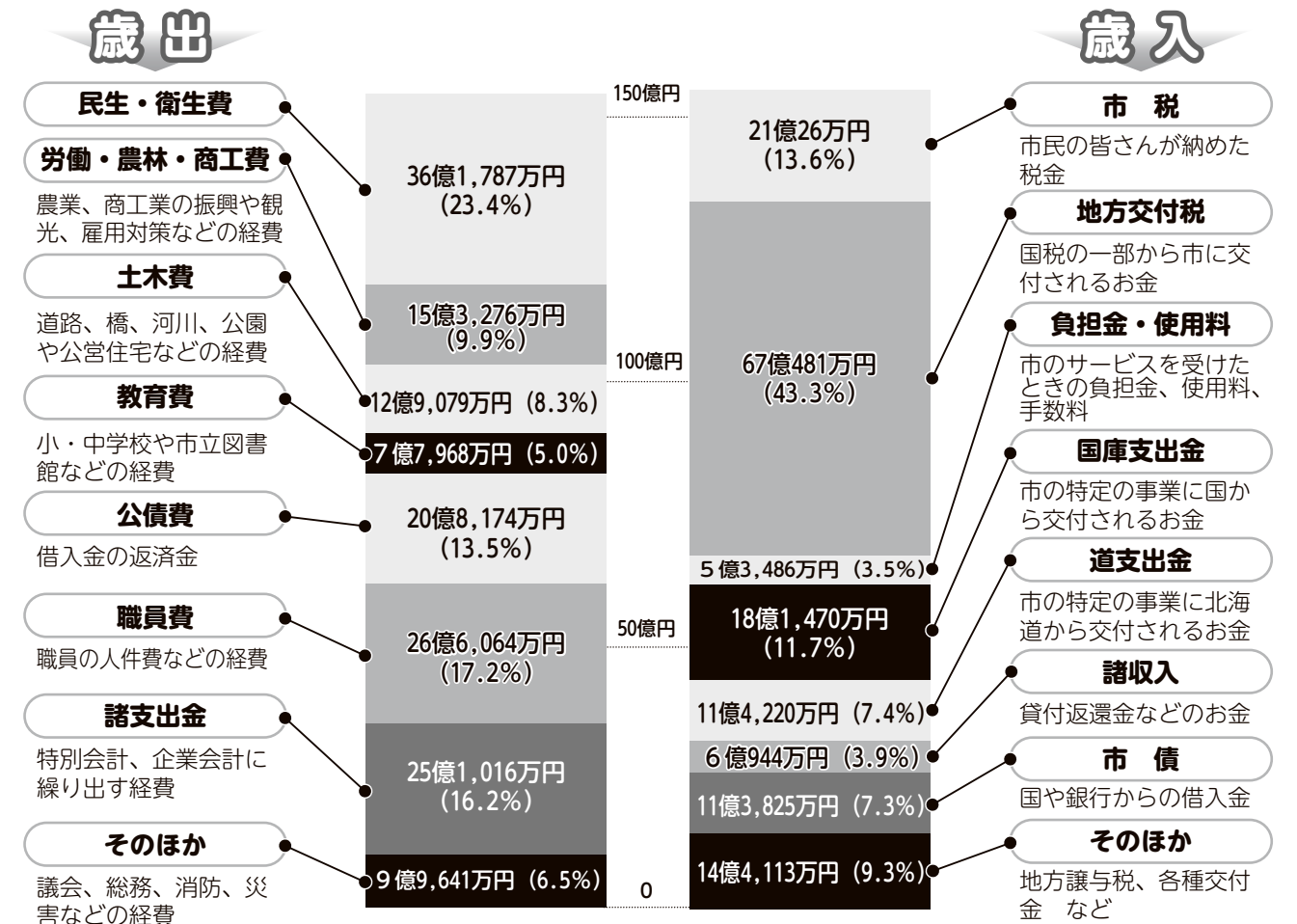
平成29年度

決算

問合せ 財政課 63-0135

第3回市議会定例会で認定された平成29年度各会計の決算をお知らせします。

一般会計



歳出総額 154億7,005万円
 歳入総額 154億8,565万円
 ● 差引収支 1,560万円 ● 繰越明許費繰越額 694万円 ● 実質収支額 866万円

平成29年度の一般会計の決算は、職員費や諸支出金の執行減、さらには効率的な事業執行に努めたことなどから、1,560万円の剰余金が生じ、翌年度に繰り越すべき財源694万円を除く実質収支は866万円の黒字となりました。
 今後とも、予算の効率的な執行と行財政改革を進め、健全な行財政運営に努めていきます。
 なお、健全化判断比率の状況については、4ページの財政健全化判断指標をご覧ください。

市税収入の状況

市税収入は前年度と比較して620万円（0.3%）減少しましたが、収納率は91.9%と前年度対比で0.5ポイントの増加となりました。
 一方、納められていない市税は、1億6,349万円で前年度と比較して1,494万円減少しています。
 市税は、市民の福祉の維持向上に必要な経費を賄うための最も重要な自主財源ですので、完納されますようお願いいたします。

